



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月13日

上場会社名 株式会社トスネット 上場取引所 JQ
 コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 康廣
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 奉昭 TEL 022(299)-5761
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	5,671	6.9	75	22.8	100	44.4	13	—
21年9月期第3四半期	5,304	—	61	—	69	—	△50	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第3四半期	3 10	— —
21年9月期第3四半期	△11 95	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第3四半期	4,101	1,862	45.4	440 37
21年9月期	3,946	1,890	47.9	446 69

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 1,862百万円 21年9月期 1,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	— —	0 0	— —	7 50	7 50
22年9月期	— —	0 0	— —	— —	— —
22年9月期(予想)	— —	— —	— —	7 50	7 50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	7,300	1.3	170	13.3	190	20.3	60	—	14 18	—

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、添付資料P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	4,232,600株	21年9月期	4,232,600株
22年9月期3Q	2,195株	21年9月期	1,197株
22年9月期3Q	4,230,405株	21年9月期3Q	4,231,403株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年来からの世界的な金融市場の混乱による影響が引き続きあったものの、海外経済の改善や政府の緊急経済対策の効果等により一部で企業収益の改善の兆しが見られました。その一方で雇用情勢の悪化やデフレの長期化等の影響により、景気全般に対する下振れが懸念され、不透明な状況の中で推移しました。

警備業界におきましては、国民の安心や安全を求める意識は高いものと考えられ、警備サービスに対するニーズや関心は高いものの、一方では警備品質の更なる向上やコスト削減への取組みが求められ、同業他社との受注競争の激化や警備品質確保のためのコスト要因等も重なり、収益面では引き続き厳しい状況の中で推移しました。

このような状況下、当社グループは引き続き施設警備、列車見張り警備の拡販及びロードスタッフの受注拡大など当社グループの中核となる事業に軸足を置いて積極的に営業推進し、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,671百万円(前年同四半期比6.9%増)、営業利益は75百万円(前年同四半期比22.8%増)、経常利益は100百万円(前年同四半期比44.4%増)、四半期純利益は13百万円(前年同四半期は四半期純損失50百万円)となりました。

(部門別売上高の状況)

〈交通警備〉

厳しい受注獲得競争の中、当社グループの特色を生かしたロードスタッフ、イベント警備、駐車場警備へ積極的に取組み、トスネット及び連結子会社の㈱三洋警備保障の受注が堅調に推移しました結果、当部門の売上高は3,318百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。

〈施設警備〉

施設警備につきましては、首都圏を中心に積極的に拡大を図っており、当部門の売上高は1,576百万円(前年同四半期比2.2%増)となりました。

〈列車見張り警備〉

トスネット及び連結子会社の㈱大盛警備保障の受注が堅調に推移しました結果、当部門の売上高は537百万円(前年同四半期比13.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して155百万円増加し、4,101百万円となりました。この主な要因は、のれんの増加240百万円等であります。

負債は主に長期借入金の増加165百万円により、前連結会計年度末と比較して182百万円増加し、2,238百万円となりました。純資産は、利益剰余金18百万円等の減少により、前連結会計年度末と比較して27百万円減少し、1,862百万円となりました。

この結果、自己資本比率は45.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して60百万円増加し、981百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、167百万円（前年同四半期は232百万円の収入）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が95百万円になったほか、売上債権の減少額106百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は220百万円（前年同四半期は52百万円の支出）となりました。この主な要因は、子会社株式の取得による支出280百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は113百万円（前年同四半期は138百万円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入金による収入300百万円があったものの、長期借入金の返済による支出151百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の通期業績予想につきましては、「平成22年9月期第2四半期決算短信」（平成22年5月14日付）において公表いたしました数値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用及び引当金の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	981,560	970,595
受取手形及び売掛金	44,896	16,720
警備未収入金	786,571	906,874
原材料及び貯蔵品	18,309	17,951
繰延税金資産	20,180	15,624
その他	58,313	51,796
貸倒引当金	△6,849	△7,757
流動資産合計	1,902,981	1,971,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	345,615	356,425
土地	981,411	981,411
その他(純額)	69,870	66,456
有形固定資産合計	1,396,897	1,404,293
無形固定資産		
のれん	277,665	37,232
その他	38,969	25,105
無形固定資産合計	316,634	62,338
投資その他の資産		
投資有価証券	284,803	305,710
投資土地	72,085	72,085
投資建物(純額)	8,333	9,064
会員権	3,604	3,504
繰延税金資産	74,258	70,036
その他	65,935	70,819
貸倒引当金	△23,781	△23,057
投資その他の資産合計	485,238	508,163
固定資産合計	2,198,770	1,974,795
資産合計	4,101,752	3,946,599

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	150,368	167,579
未払法人税等	51,120	58,440
未払消費税等	63,674	58,106
未払費用	510,920	516,119
賞与引当金	38,185	23,710
その他	117,107	110,463
流動負債合計	1,251,376	1,254,419
固定負債		
長期借入金	804,717	638,873
退職給付引当金	149,131	142,344
その他	33,596	20,318
固定負債合計	987,444	801,536
負債合計	2,238,821	2,055,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	524,680	524,680
資本剰余金	508,300	508,300
利益剰余金	857,371	875,975
自己株式	△615	△385
株主資本合計	1,889,736	1,908,569
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△26,804	△17,926
評価・換算差額等合計	△26,804	△17,926
純資産合計	1,862,931	1,890,643
負債純資産合計	4,101,752	3,946,599

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	5,304,680	5,671,519
売上原価	3,843,942	4,216,339
売上総利益	1,460,738	1,455,179
販売費及び一般管理費	1,398,958	1,379,343
営業利益	61,779	75,836
営業外収益		
助成金収入	—	17,672
受取賃貸料	15,393	15,151
その他	23,012	19,200
営業外収益合計	38,405	52,024
営業外費用		
支払利息	16,758	15,707
投資有価証券運用損	11,145	5,869
その他	2,386	5,337
営業外費用合計	30,291	26,914
経常利益	69,893	100,945
特別利益		
賞与引当金戻入額	5,765	1,390
その他	82	—
特別利益合計	5,847	1,390
特別損失		
固定資産除却損	—	808
投資有価証券評価損	73,551	5,678
その他	1,313	—
特別損失合計	74,864	6,486
税金等調整前四半期純利益	877	95,849
法人税、住民税及び事業税	56,012	90,456
法人税等調整額	△4,587	△7,738
法人税等合計	51,425	82,717
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,548	13,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	877	95,849
減価償却費	30,109	31,201
のれん償却額	5,359	13,835
貸倒引当金の増減額（△は減少）	309	△304
退職給付引当金の増減額（△は減少）	7,962	6,787
賞与引当金の増減額（△は減少）	5,775	13,975
受取利息及び受取配当金	△2,562	△3,173
支払利息	16,758	15,707
投資有価証券運用損益（△は益）	11,145	5,869
投資有価証券評価損益（△は益）	73,551	5,678
有形固定資産除却損	1,313	808
売上債権の増減額（△は増加）	98,720	106,731
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,154	951
前払費用の増減額（△は増加）	28,430	11,131
未収入金の増減額（△は増加）	35,046	△8,056
未払金の増減額（△は減少）	△21,854	△11,253
未払費用の増減額（△は減少）	5,000	△10,401
預り金の増減額（△は減少）	△332	△1,547
その他	14,701	△17,546
小計	311,467	256,242
利息及び配当金の受取額	3,112	3,170
利息の支払額	△16,457	△15,555
法人税等の支払額	△65,523	△76,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	232,599	167,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	50,000
投資有価証券の取得による支出	△32,707	△2,755
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,138	2,519
有形固定資産の取得による支出	△17,488	△7,528
有形固定資産の売却による収入	—	4,512
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△280,847
無形固定資産の取得による支出	—	△72
敷金の差入による支出	△1,365	△1,493
その他	△3,814	15,484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,237	△220,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△150,000	—
長期借入れによる収入	350,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△306,411	△151,368
自己株式の取得による支出	—	△229
配当金の支払額	△31,645	△31,790
その他	—	△2,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,056	113,770
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	42,305	60,965
現金及び現金同等物の期首残高	912,229	920,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	954,534	981,560

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)において、警備業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位:千円)

職 種		前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		前連結会計年度 (自平成20年10月1日 至平成21年9月30日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
警備料 収入	交通警備	3,113,752	58.7	3,318,508	58.5	4,249,906	59.0
	施設警備	1,542,697	29.1	1,576,293	27.8	2,040,343	28.3
	列車見張り警備	473,924	8.9	537,613	9.5	658,854	9.1
小 計		5,130,374	96.7	5,432,415	95.8	6,949,104	96.4
その他売上		174,305	3.3	239,103	4.2	258,105	3.6
合 計		5,304,680	100.0	5,671,519	100.0	7,207,209	100.0